

2026年版 吸入薬指導加算 受付から請求までの実務ワークシート

算定前の一発チェックではなく、受付 → 実施起点 → 了解・同意 → 指導／吸入 → 情報提供 → 記録 → 算定間隔 → 請求を、店舗で繰り返し確認するための実務資料です。

この資料の位置づけ

記事内容を、店舗内の確認・記録・研修に使いやすい書き込み式へ再構成したものです。全国統一の帳票・薬歴様式ではありません。実際の請求・記録は、最新の通知、レセプト記載要領、コメントマスター、レセコン仕様、自社ルールを確認してください。

STEP 1 | 受付から請求までの8段階

- 1 処方受付**
吸入薬が処方されているか。対象疾患・使用目的は何か。
- 2 実施の起点**
保険医療機関からの求めか、患者・家族等からの求め等か。
- 3 了解・同意**
必要な医師の了解、患者・家族等の同意を確認。
- 4 指導・吸入**
喘息・COPDとインフルエンザで異なる実施内容を確認。
- 5 情報提供**
吸入指導の結果等を保険医療機関へ提供。
- 6 記録**
実施内容・確認事項を薬剤服用歴等へ適切に記録。
- 7 算定間隔**
直近6月以内の算定有無と、例外該当性を確認。
- 8 請求**
併算定制限、摘要欄記載の要否を確認。

今回の確認	記入
対象薬・疾患	
前回算定日	
今回の担当者	

元記事：<https://pharma-hr.blog/market-trends/inhaler-reimbursement/>

STEP 2 | 疾患別の実施内容と、了解・同意を整理する

区分	実施内容の確認	実施
喘息・COPD	文書を用いる／練習用吸入器等を用いる／吸入手技を指導する／正しい手順で使用できているか等を確認する	☐ 済 ☐ 未
インフルエンザ	保険薬剤師による看視の下で実際に吸入してもらう	☐ 済 ☐ 未

実施の起点と必要な確認

実施のきっかけ	医師の了解	患者・家族等の同意
保険医療機関から求めがあった場合	別途の了解を取り直すという要件ではない	必要
患者・家族等からの求め等、薬剤師が必要性を認める場合	必要	必要

今回の実施起点

☐ 医療機関からの求め

☐ 患者・家族等からの求め等

☐ その他：

了解・同意の記録メモ

☐ 医師了解：確認済／不要の整理済

☐ 患者・家族等の同意：確認済

確認方法・日時：

実施した吸入指導・確認内容

インフルエンザの場合：説明だけを行い、実際の吸入は自宅で行う流れでは、記事で整理したインフルエンザに関する要件を満たしません。

STEP 3 | 情報提供・薬歴記録メモ

指導・吸入を行って終わりではなく、結果等を保険医療機関へ情報提供し、実施内容を後から確認できるように記録します。

記録したい項目	メモ
対象となった吸入薬・疾患	
実施のきっかけ	
医師了解・患者同意	
実際に行った指導・確認・看視下吸入	
患者の吸入手技・理解度等	
医療機関へ提供した情報	
疑義が生じた場合の照会内容	

情報提供方法

☐ 文書

☐ お薬手帳

☐ その他：

次回に引き継ぐこと

注意：上記は、記事で示した店舗内の記載漏れ防止のための運用例です。全国統一の薬歴記載様式ではありません。自社の薬剤服用歴等の記載ルールに従ってください。

STEP 4 | 6月ルール・併算定・レセプトを確認する

算定間隔

前回算定日：__年__月__日

今回実施日：__年__月__日

☐ 直近6月以内ではない

☐ 直近6月以内である

☐ 他の吸入薬が処方された

☐ その薬について必要な吸入指導等を別に実施

6月以内の場合の確認メモ

前回の吸入薬：

今回の吸入薬：

別途実施した指導：

併算定・請求チェック

確認事項	確認	メモ
同じ情報提供について服薬情報等提供料を別に算定していない	☐	
服薬管理指導料4のロ・ハに該当していない	☐	
特別調剤基本料Aの場合、情報提供先との関係を確認した	☐	
必要なレセプト摘要欄記載を確認した	☐	
最新のレセプト記載要領・コメントマスター・レセコン仕様を確認した	☐	

記事で整理している摘要欄コメントコード

記載項目	コメントコード
吸入薬の調剤年月日	850100480
吸入薬の名称	830100446

請求前の最終確認：コード・記載要領・レセコン仕様は更新される可能性があります。実請求時は最新情報を確認してください。

今回の請求で迷った点

STEP 5 | インフルエンザ吸入時の店舗運用チェック

インフルエンザでは、算定要件を確認することと、店舗の感染対策を設計することを分けて考えます。下記は店舗運用の確認欄であり、独自の算定要件を追加するものではありません。

店舗で決めておきたいこと	当店の運用
患者の待機・吸入場所	
他の患者との動線	
スタッフの手指衛生・必要な感染対策	
吸入後の周辺環境の取り扱い	
流行期に誰が対応しても同じ手順にする方法	

対応前チェック

☐ 吸入場所を確認

☐ 周囲の患者動線を確認

☐ 必要物品を準備

☐ 対応後の環境処理を確認

当店独自の申し送り

運用を見直した日／見直した人

見直し日	担当者	変更内容

STEP 6 | 店舗内研修メモ

制度を「知っている」だけでなく、誰が勤務していても同じ確認手順で動けるよう、店舗ごとの迷いやすい点を残します。

迷いやすいケース

例：6月以内の別吸入薬、実施起点が不明、インフルエンザの看視下吸入、併算定など

新人へ伝えるポイント

前回ミスした箇所

何が起きたか

原因

次回の対策

次回改定時に見直す項目

☐ 点数

☐ 算定間隔

☐ 対象疾患・対象範囲

☐ 了解・同意

☐ 情報提供

☐ 併算定

☐ レセプト記載

☐ 店舗感染対策

次回確認予定：__年__月

研修実施記録

実施日	参加者	研修で決めたこと・次回課題

研修のゴール：点数を暗記することではなく、対象患者を拾い、必要な指導を行い、医療機関への情報提供、記録、算定間隔、請求までを店舗フローとして完結できる状態を作ること。